

令和 5 年度第 2 回堺市バリアフリー化検討委員会でお示した資料を一部加筆したものです

重点整備地区の内、令和 6 年度以降に見直しを行う地区について（再報告）

令和 4 年度から重点整備地区を順次見直し、「堺市バリアフリー基本構想（改定版）」への一本化を図っています。

令和 5 年 6 月は「堺駅・堺東駅周辺地区」の見直しを実施しました。また、令和 6 年 3 月には「南海高野線中百舌鳥駅・地下鉄なかもず駅周辺地区」を見直す予定です。

令和 6 年度以降に評価・見直しを実施する地区について、以下を予定しています。

1 令和 6 年度以降に評価・見直しを行う地区（予定）

■バリアフリー化設備の整備計画に合わせて、評価・見直しを行う重点整備地区（案）

地区	主な理由
泉北高速深井駅周辺地区 （H13 年度策定）	<p>・泉北高速鉄道各駅において、「可動式ホーム柵」を設置していく計画があるため。</p> <p>・3 地区（深井・泉ヶ丘・光明池）については、策定後 20 年以上経過しており、重点整備地区を取り巻く状況が変わってきているため。</p>
泉北高速泉ヶ丘駅周辺地区 （H14 年度策定）	
泉北高速光明池駅周辺地区 （H14 年度策定）	
泉北高速榑・美木多周辺地区 （H27 年度策定）	

■実施方法（案）

（1）実施期間

令和 6～7 年度に 2 年間

（2）評価・見直しの手法等

2 年間で 4 つの重点整備地区をまとめて評価・見直しを実施。

既存の整備状況を活かしつつ、「堺駅・堺東駅周辺地区」「南海高野線中百舌鳥駅・地下鉄なかもず駅周辺地区」と同様の手法で見直しを実施。

2 関係部局・関係機関との連携・調整

当該地区には、様々な都市計画や整備事業が予定されており、それぞれの計画等との調和が最も重要であると考えています。

また、近隣市と隣接している地区もあるため、近隣市との調整も行っています。

4 つの重点整備地区の評価・見直しを実施することになれば、ご協力をお願いいたします。